

## 5) 血液内科

### 1. 診療体制と患者構成

#### 1) 診療科スタッフ（講師以上）

高山 信之（教授，診療科長）

佐藤 範英（講師）

#### 2) 常勤医師数，非常勤医師数

常勤医師：6名

非常勤医師：0名

#### 3) 指導医数，専門医，認定医数

認定内科医：5名

総合内科専門医：1名

日本血液学会認定医：2名

日本血液学会指導医：1名

日本造血細胞移植学会造血細胞移植学会認定医：1名

#### 4) 外来診療の実績

患者総数 11,001名

初診患者数 724名

#### 5) 入院診療の実績

患者総数 713名（314名）

主要疾患患者数

急性骨髄性白血病 39名（29名）

急性リンパ性白血病 15名（6名）

骨髄異形成症候群 60名（30名）

非ホジキンリンパ腫 446名（151名）

ホジキンリンパ腫 23名（7名）

多発性骨髄腫 51名（35名）

再生不良性貧血 2名（2名）

（かっこ内は，複数回入院患者を1と数えた場合の実患者数）

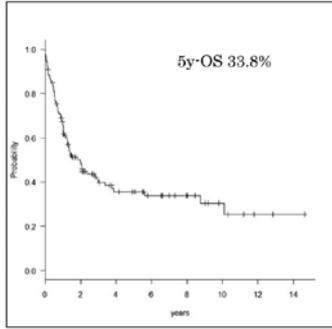
#### 主要疾患年度別新規患者診療実績

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
新規入院患者数	145	147	156	169	187
急性骨髄性白血病	8	11	14	15	17
急性リンパ性白血病	2	1	3	5	2
慢性骨髄性白血病	4	1	6	4	7
ホジキンリンパ腫	9	5	6	4	4
非ホジキンリンパ腫	68	91	63	106	96
多発性骨髄腫	12	12	14	9	15
再生不良性貧血	4	3	3	7	2
特発性血小板減少性紫斑病	13	6	10	5	10
延べ入院数	600	597	607	672	713

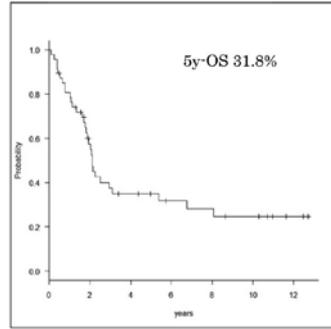
（疾患別患者数は，入院歴のない外来診察のみの患者を含む）

死亡患者数 53名

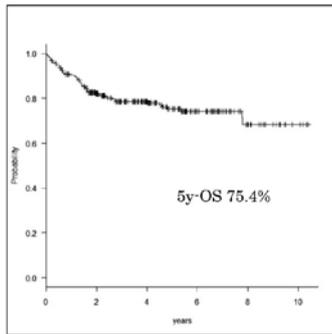
剖検数 3名 (剖検率 5.7%)  
 主要疾患5年生存率  
 急性骨髄性白血病



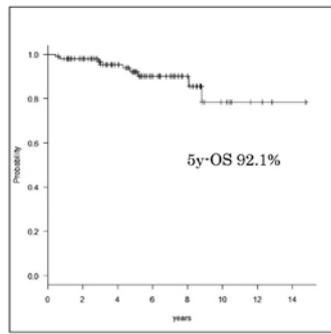
急性リンパ性白血病



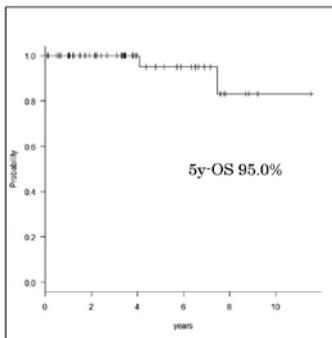
びまん性大細胞型B細胞リンパ腫



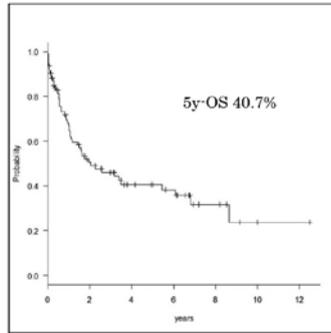
濾胞性リンパ腫



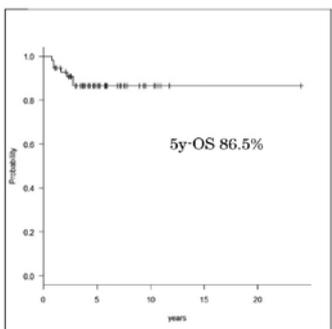
濾胞辺縁帯リンパ腫



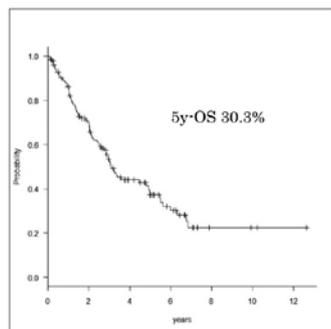
T/NK細胞性リンパ腫



ホジキンリンパ腫



多発性骨髄腫



## 2. 先進的医療への取り組み

化学療法に関しては、分子標的治療薬を初めとする新規治療薬として、1) 慢性骨髄性白血病に対するイマチニブ、ダサチニブ、ニロチニブ、2) B細胞性非ホジキンリンパ腫に対するリツキシマブ、3) 多発性骨髄腫に対するボルテゾミブ、サリドマイド、レナリドミド、4) CD30陽性リンパ腫に対するブレンツキシマブ ベドチン、4) 急性前骨髄球性白血病に対する三酸化砒素、などの先進的治療を積極的に行っている。

造血幹細胞移植に関しては、平成14年より自家末梢血幹細胞移植、平成16年より血縁者間同種骨髄移植、平成17年より血縁者間同種末梢血幹細胞移植、平成20年1月より非血縁者間骨髄移植、同年8月より非血縁者間臍帯血移植を開始している。また、平成19年12月より非血縁者ドナーの骨髄採取を開始している。

## 3. 低侵襲医療の施行項目と施行例数

特になし

## 4. 地域への貢献

多摩地区の血液内科医を中心として行われる、多摩血液疾患連絡会、多摩造血因子研究会、多摩血液懇談会、多摩悪性リンパ腫研究会、多摩支持療法研究会、Tama Hematology Expert Meeting、西東京血液セミナーに参加している。

不定期であるが、地域の開業医を対象とした勉強会にて講演を行っている。